



ちがさき 子ども・子育て会議通信 Vol.16



平成28年5月12日発行

平成28年3月28日に平成27年度第4回茅ヶ崎市子ども・子育て会議を開催しました。

次の内容について話し合いを行い、会議の委員の方より御意見をいただきました。

【議 題】

○子育て支援施策について（切れ目のない支援について）

①妊娠・出産包括支援事業について

妊娠・出産包括支援事業については、新制度における「子ども・子育て支援事業計画」においては当初の計画にはなかったメニューで新たに「利用者支援事業（母子保健型）」と事業名を変更し盛り込まれることとなったものです。厚生労働省が平成26年度モデル事業を実施し、結果の事例集が内閣府HP上で公表されているので資料として御覧いただきました。

担当課はこども育成相談課で、実際には課の1つのセクションとして担当を設置し、センター機能を持たせるようなイメージで、「母子保健」のコーディネーターとなる保健師や助産師が妊産婦からの電話相談や窓口相談に対応し、不安なく妊娠期から子育て期を過ごす事が出来るよう支援するというものです。

②要保護児童対策地域協議会の現状について

この事業の中心となるのは、家庭児童相談室になり、資料をご覧いただきながら、茅ヶ崎市の現状を御確認いただきました。

③乳幼児全戸訪問事業の現状について

こども育成相談課の保健師に聞き取りを行った内容を報告いたしました。事業内容は生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭を全戸訪問する事業。基本的には第1子は助産師・保健師が訪問し、第2子以降は主任児童委員が訪問することとなっています。第2子以降であってもリスクのある母子の場合は保健師、助産師が訪問します。

また、その他ご要望の内容によって助産師、保健師が対応を考えます。

④文科省中教審「チーム学校」の茅ヶ崎市における状況と可能性

学校教育指導課よりヒアリングした内容を報告いたしました。茅ヶ崎市の現状といたしましては、スクールソーシャルワーカーをはじめ19小学校区の青少年育成推進協議会や学校評議委員またPTAなど地域と連携を取りながら学校運営を進めていくことができているので、「チーム学校」という新しいメニューに基づいたシステムの構築は今のところ必要性はないとのことでした。

○茅ヶ崎市子ども・子育て支援事業計画の進行管理について(グループ別協議)

【グループごとの御意見】

第1グループ

施策の指標については、担当課で目標をたてた指標で評価をしなければいけないことは理解できているのですが、施策によっては指標には載せきれない部分、わかりづらい部分について、担当課に来ていただいてお話を伺ったり、ヒアリングするなどして、数字的・量的な指標だけで目標達成という事ではなく、質的な指標、利用者の満足度を評価していくことも考えていく必要があるのではと思いました。



保育士の研修事業について、研修内容がよくわからないので少し不安に感じました。小規模保育事業において、短期間に複数の園が開園し保育士の質の部分がかどのように担保されるのか、認可の保育所間の情報提供や共通理解、保育士の質の部分でのフォロー面について考える必要があると思いました。

乳幼児発育発達支援のところで、数字だけが表に出てきていて、保護者側からのアプローチによる利用なのか、行政側からの何らかのアプローチによって利用に至ったのかについてわかるといいと思いました。またその利用者の満足度も知りたいと思いました。



第2・3グループ

各施策の指標において、数字の出し方についての根拠を「施策内容・目標」記載部分に載せて欲しいと思います。解決率を掲げている施策がありますが、どのようなことについて解決率としているのか、わかりづらいと思います。

また、利用実績を出している課がありますが、利用実績に至るまでに、利用希望の段階でどのぐらいの希望があったのかが重要だと思います。

他のグループの施策だと思いますが、小規模保育事業の利用希望者数や一時預かり事業の利用者数は数字として出せるのかどうかお聞きしたいです。

第4・5グループ

次回平成28年度第1回茅ヶ崎市子ども・子育て会議は、平成28年6月21日を予定しています。

会議終了後、ちがさき子ども・子育て会議通信vol.17を発行予定です。

発行 茅ヶ崎市こども育成部保育課 保育推進担当
所在地 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号
電話 0467-82-1111(代表)

